東名高速道路（仮称）駒門スマートIC

実施計画書

平成28年5月

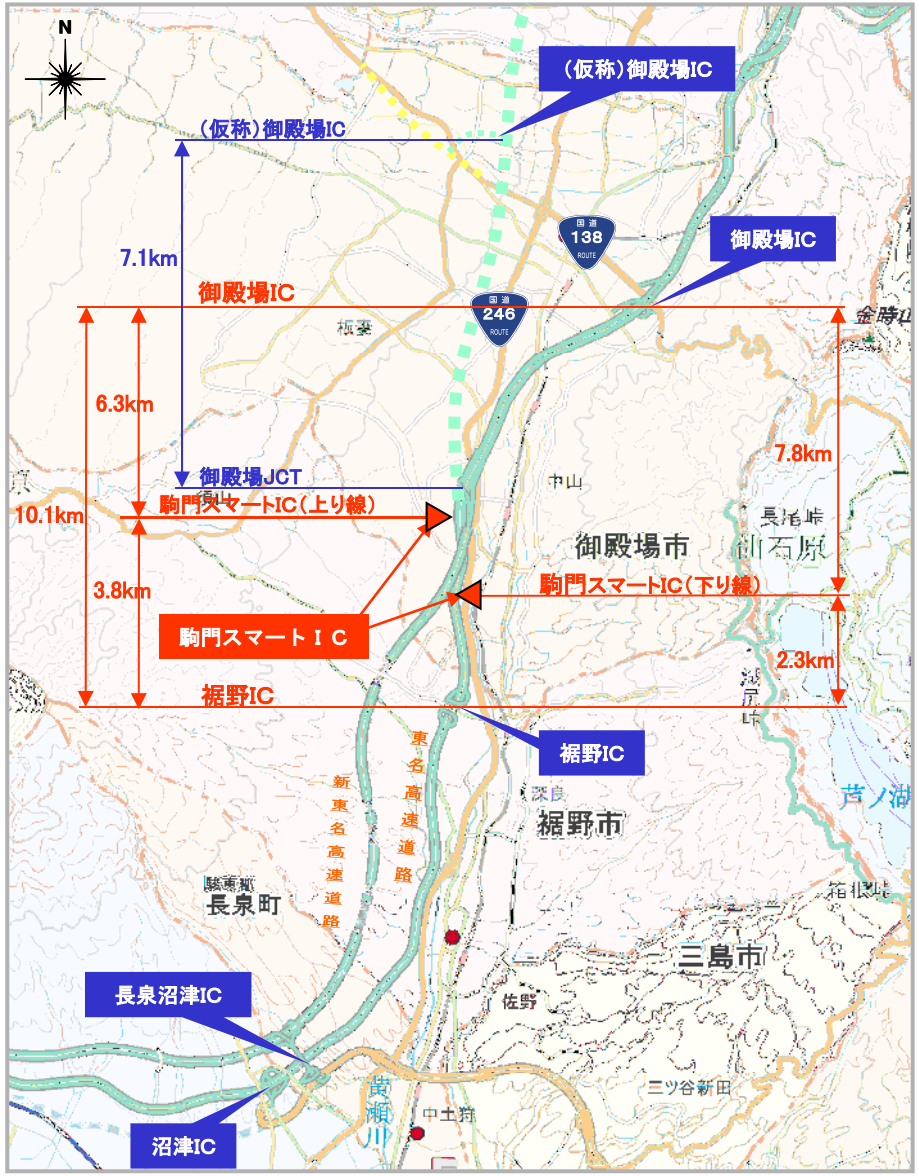
御殿場市

1. 路線名

【路線名】

第一東海自動車道

（東名高速道路）



2. 連結位置及び連結予定施設

上り線：【連結位置】御殿場市駒門地内　【連結予定施設】市道3697号線
下り線：【連結位置】御殿場市町屋地内　【連結予定施設】市道3698号線

4. 計画交通量、供用予定時期

①計画交通量

駒門スマートＩＣ計画交通量（平成４２年）：1,900（台／日）

〔推計条件〕

- ＯＤデータ　：　平成１７年度道路交通センサス将来ＯＤ（H42）
- 配分手法　：　高速転換率併用配分手法
- ＥＴＣ利用率　：　９０％

②供用予定時期

供用予定時期　：　平成３２年３月３１日

6. 管理・運営形態

●運用形態
フルインター形式

●利用方法
Ｉ　Ｎ　：東京方面上り線、名古屋方面下り線
ＯＵＴ：東京方面上り線、名古屋方面下り線

●運用時間
２４時間

●対応車種
ＥＴＣ車載器を搭載した下記の車種
（軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車）
＊通行可の対象車長：Ｌ＝１６．５ｍ以下

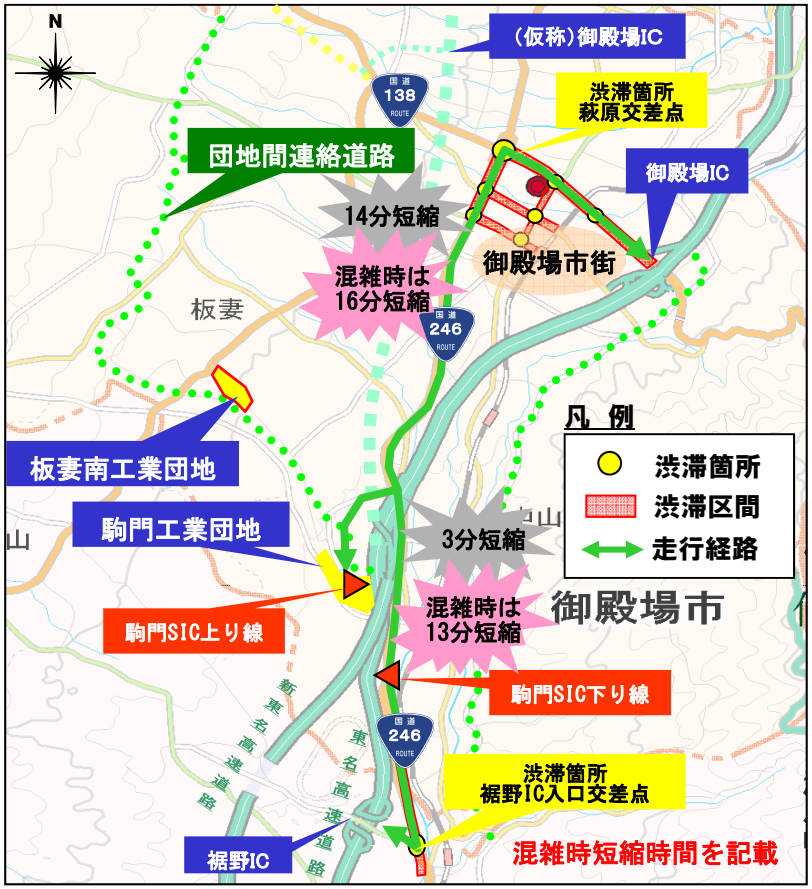
※当該ＩＣの供用後も継続して、その社会便益、安全性、利用交通量、管理・運営形態等について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直す

8. スマートICの設置により期待される整備効果

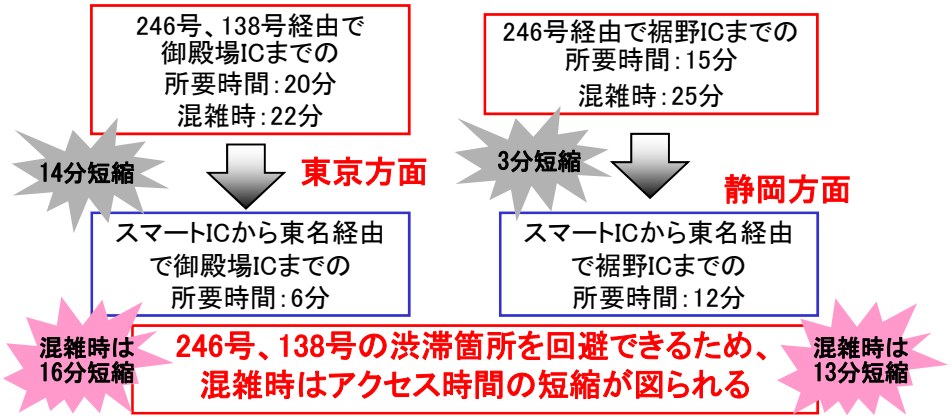
①東名高速道路までのアクセス時間短縮による企業活動・物流の効率化

●「工業団地直結のスマートIC」により、高速道路までのアクセス時間が短縮され、企業活動・物流の効率化が期待できる。
●内陸フロンティア推進区域に指定された「板妻南工業団地」への企業誘致促進に繋がる。
●利便性の向上により、工業地域への企業誘致促進や雇用拡大など地域産業の活性化が期待できる。

■高速道路までのアクセス時間短縮

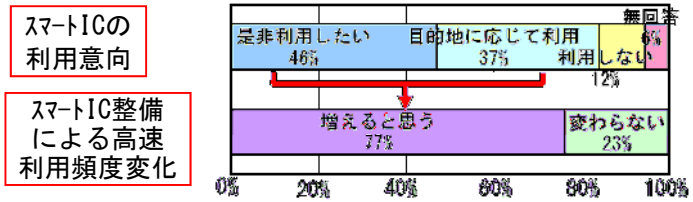


駒門工業団地からＩＣまでの所要時間



※平成26年度御殿場市が実施した「走行時間調査」結果による

■周辺立地企業のスマートICへの期待



・会社の立地が御殿場と裾野の中間に位置しているので駒門スマートＩＣの設置を期待しています。
・スマートICが設置されると工業用地への進出のきっかけになります。
・駒門にスマートＩＣが設置されると通勤などの移動が便利になります。
・御殿場ＩＣのアウトレットによる渋滞の解消や渋滞を回避できるため、早期の設置を希望します。

※平成26年度御殿場市が実施した「周辺立地企業へのアンケート調査」結果より抜粋

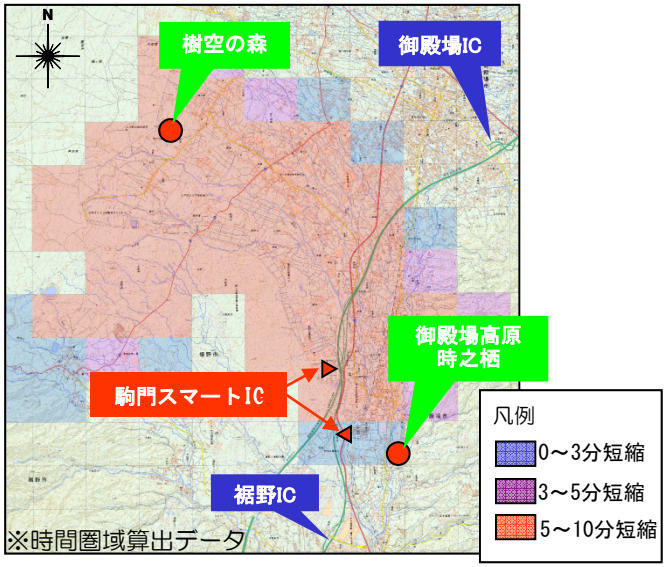
8. スマートICの設置により期待される整備効果

②東名高速道路までのアクセス性の向上による観光客数の増加

- 「首都圏」・「静岡・中京方面」から市南部の観光地・施設へは、御殿場・裾野IC周辺の渋滞を避け来訪することができ、高速ICアクセス時間が最大10分短縮する。
- スマートICの整備による所要時間の短縮、ＩＣ利便性の向上により、観光の多様的なニーズに対応でき、来客者増に期待がかかる。

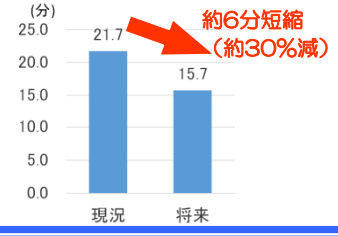
■周辺観光地と市内観光施設とのアクセス向上

○高速ICアクセス時間が短縮される地域（休日）

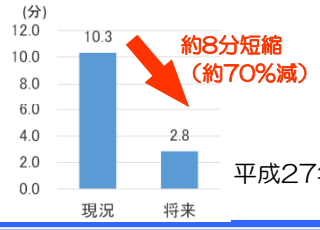


○スマートIC整備による観光地のアクセス時間

☆樹空の森
（現況：裾野IC、将来：駒門SIC）

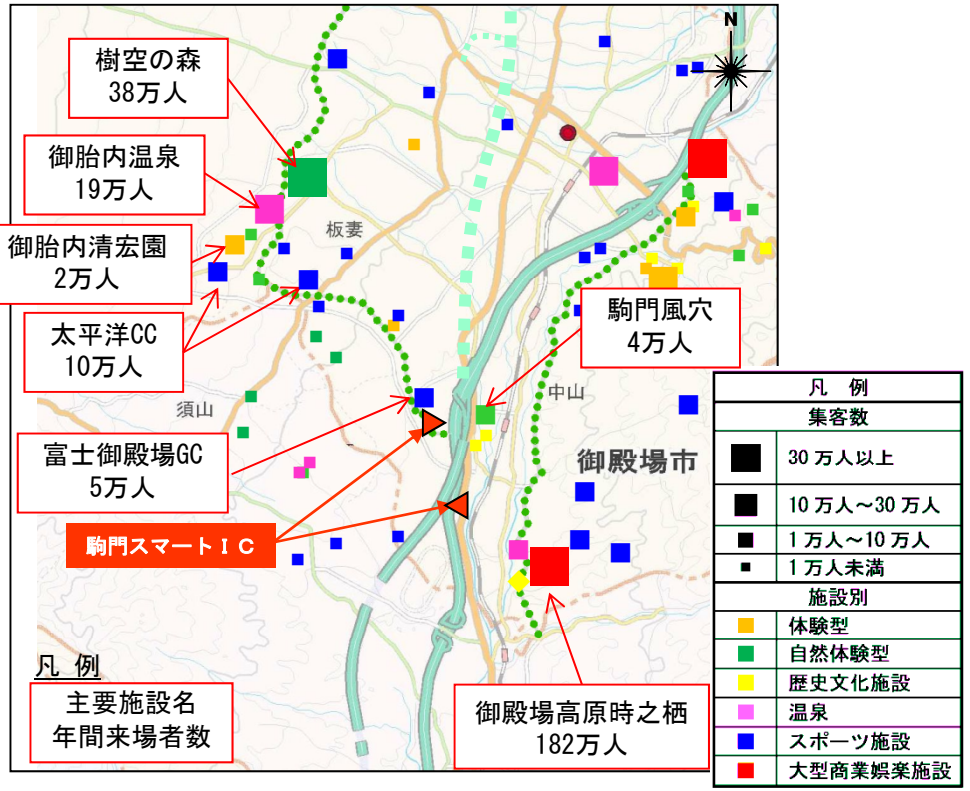


☆時之栖
（現況：裾野IC、将来：駒門SIC）



※H27.5 月休日民間プローブデータ

■観光レクリエーション施設等の分布



※平成24年御殿場市観光動向調査結果より転載

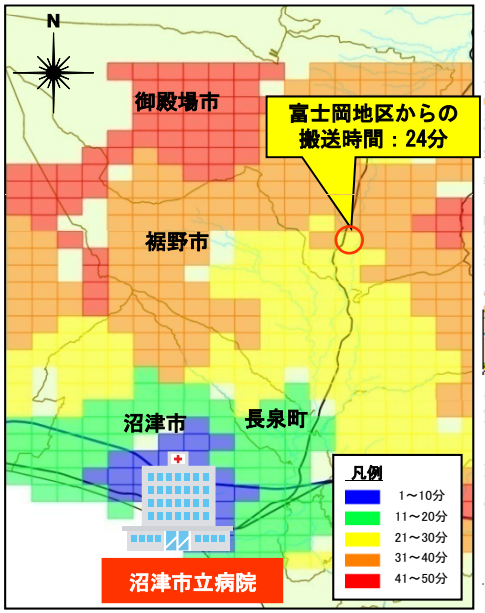
平成27年度沼津河川国道事務所が実施した
「準備段階調査」結果による

8. スマートICの設置により期待される整備効果

③高度医療施設へのアクセス向上による救命率の向上

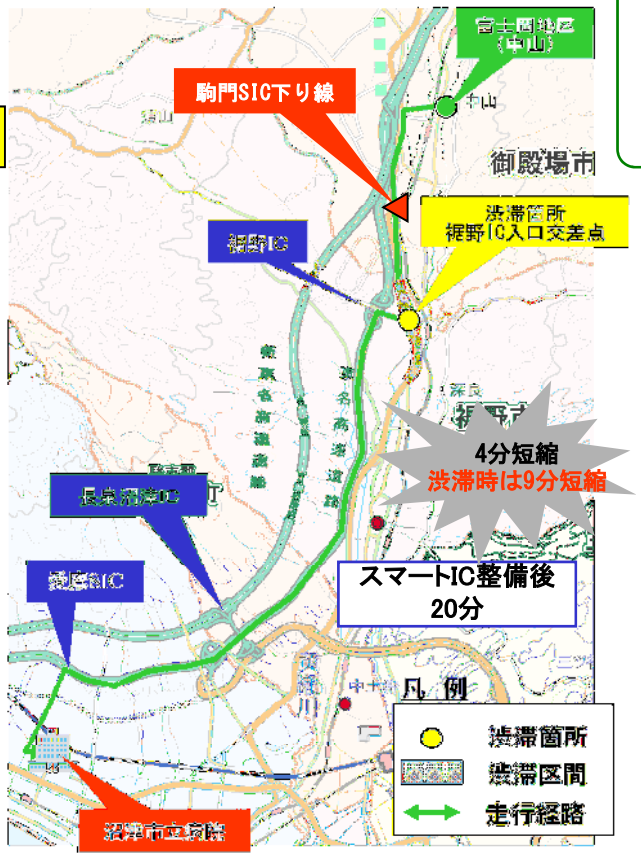
●第3次救急医療施設である沼津市立病院への搬送時間は４分短縮され、生存率が10%増加し、生存率の増加が期待できる。渋滞時は9分短縮され、生存率が17%増加する。
●朝夕の渋滞ポイントである裾野IC周辺を通過することがなくなり、搬送時間の定時性を確保できる。

<搬送時間の短縮>



搬送時間圏域図（整備前）
「NITAS（全国総合交通分析システム）」により算出

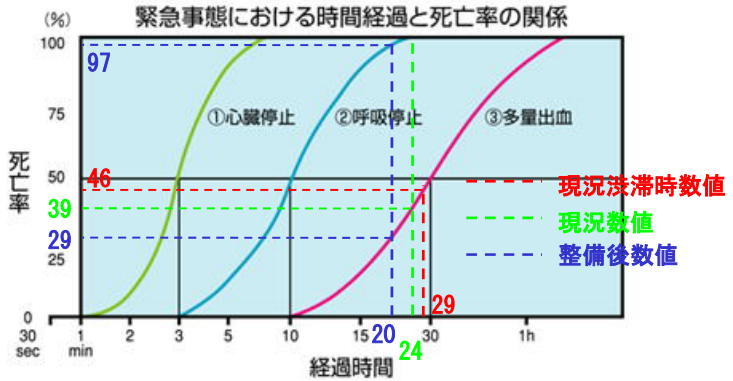
※出発地は富士岡地区の中心地で、富士岡支所等がある「中山」とした。中山は富士岡地区の約25%（4,500人）が居住している。



<搬送時間短縮による生存率の増加>

時間短縮に伴い、多量出血患者の生存率は
約10%増加（39%→29%）
渋滞時は約17%増加（46%→29%）
呼吸停止患者の生存率は約3%増加（100%→97%）
（　）内の百分率は死亡率を表す

<カーラーの救命曲線>



※1. 搬送時間：富士岡地区から沼津市立病院間を法定速度を用いて算出している
※2. 渋滞時の搬送時間：消防署の聞き取りにより渋滞区間の通過時間増分として5分加算している
※3. 整備前のルートは、富士岡地区から裾野ICを利用して、愛鷹SIC経由で沼津市立病院へ向かうアクセス経路としている
※4. 整備後のルートは、富士岡地区から駒門スマートICを利用して、愛鷹SIC経由で沼津市立病院へ向かうアクセス経路としている

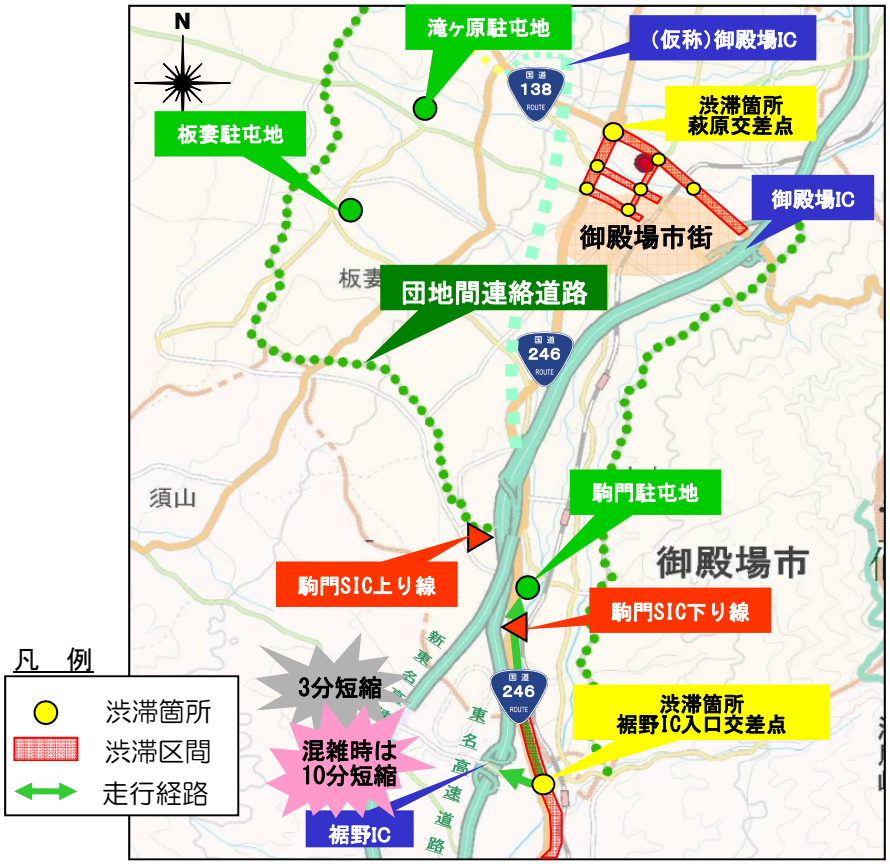
8. スマートICの設置により期待される整備効果

④災害地派遣への迅速対応

●駒門スマートIC付近には、駒門、板妻、滝ヶ原駐屯地があり、大規模災害発生時の災害派遣に対して、速やかに被災地に移動する経路を確保できる。

●板妻、滝ヶ原駐屯地からの派遣に対して、団地間連絡道路を経由することにより、東名高速道路へのアクセス時間の短縮が図られる。

■駒門駐屯地からのアクセス時間の短縮



〈駒門駐屯地から東名までの所要時間短縮〉

現況
246号経由で裾野ICまでの
所要時間:8分
渋滞時:15分
距離:5.8km

3分短縮

混雑時は
10分短縮

所要時間:3分
走行距離:1.6km短縮

整備後
SIC経由で裾野ICまでの
所要時間:5分
距離:4.2km

裾野IC周辺の渋滞箇所を回避できるため、混雑時は更にアクセス時間の短縮が図られる

※1. アクセス時間：駒門駐屯地から東名高速道路間を法定速度を用いて算出している
※2. 整備前のルートは、駒門駐屯地から裾野IC経由して東名高速道路にアクセスする経路としている
※3. 整備後のルートは、駒門駐屯地から駒門スマートIC経由して東名高速道路にアクセスする経路としている

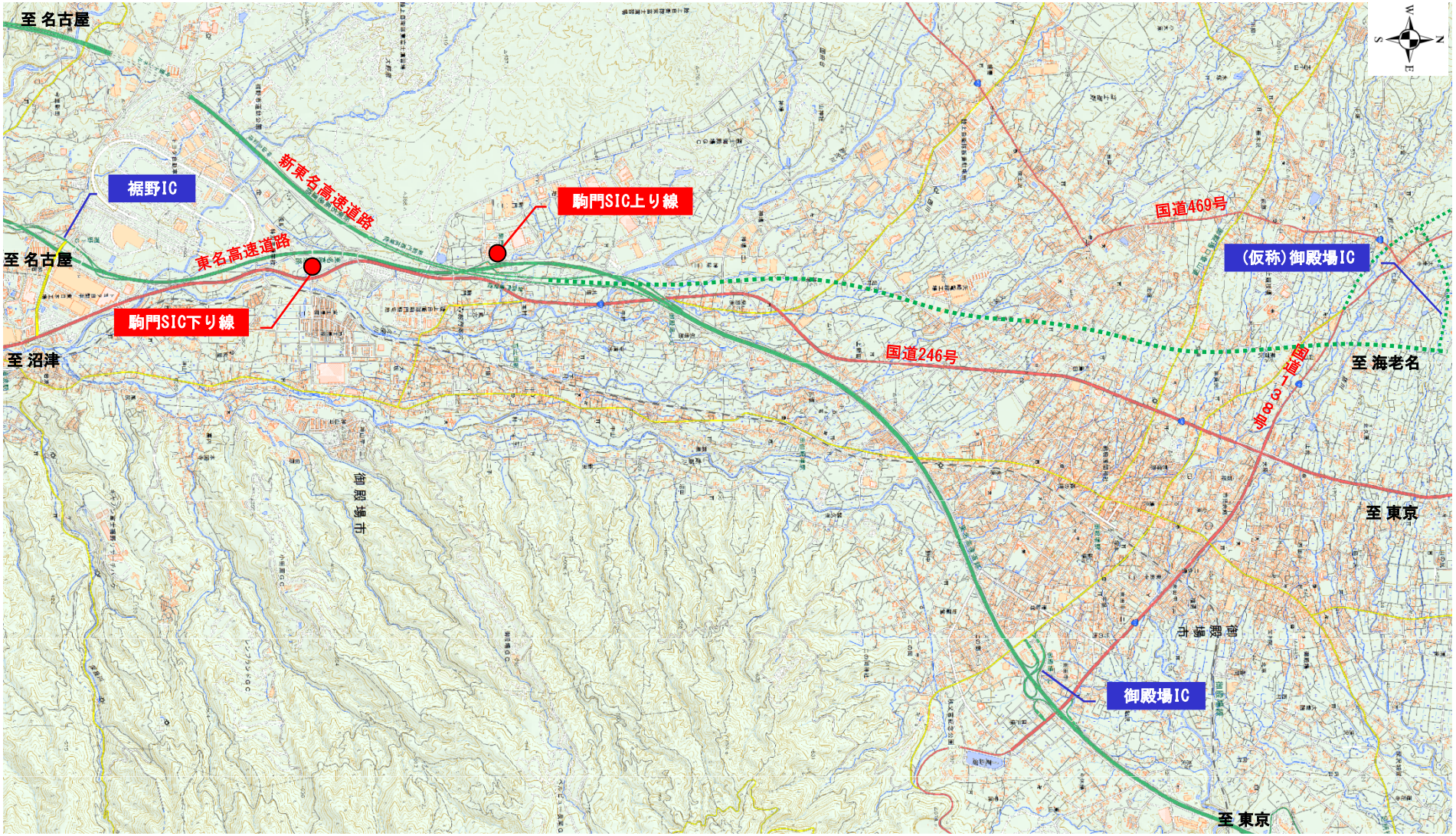
■スマートIC設置への期待

スマートICの設置により、災害派遣時の利用が見込まれます

※駒門駐屯地担当者からのヒアリング

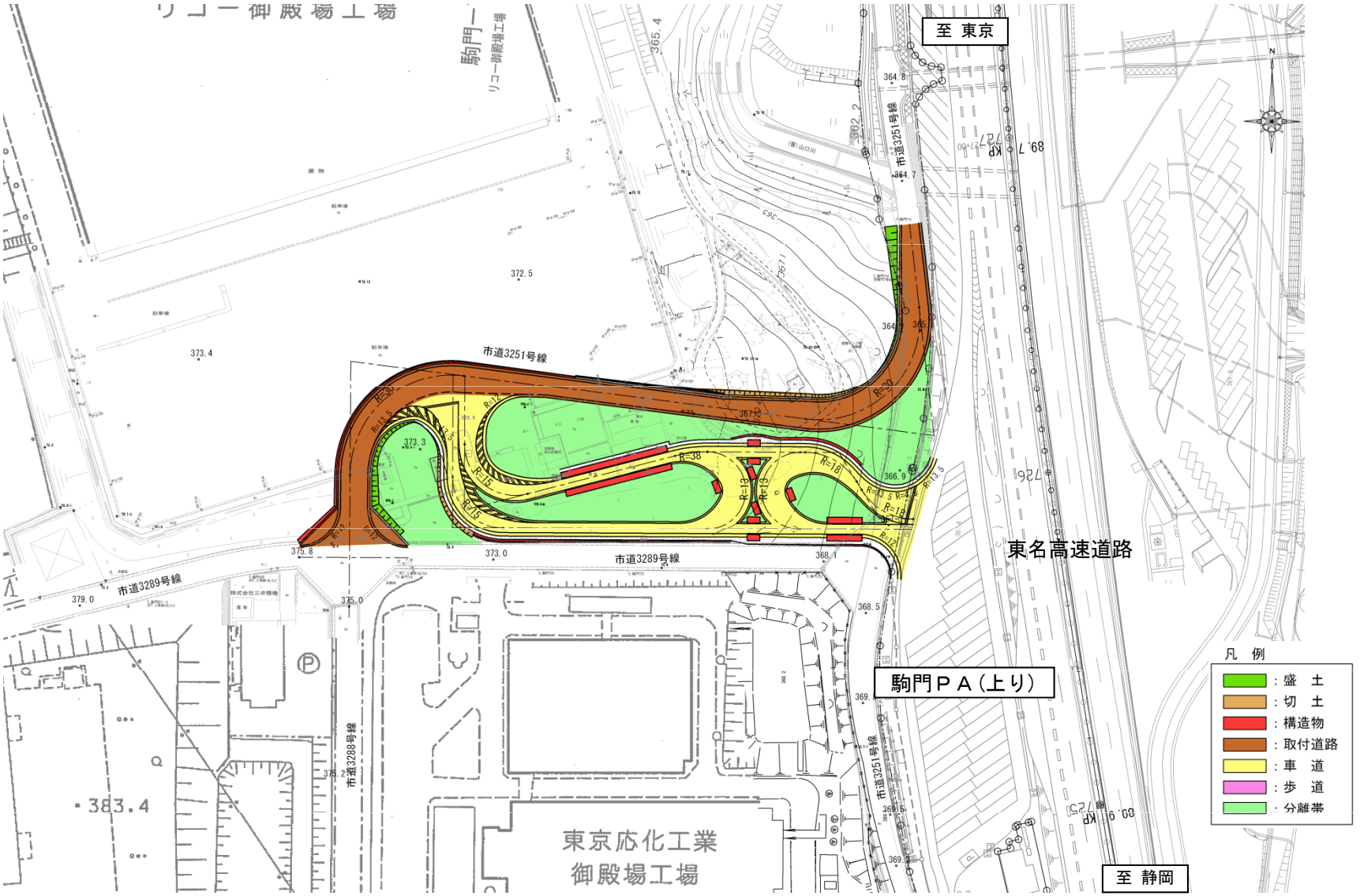
11. 概略図面、その他必要な図面

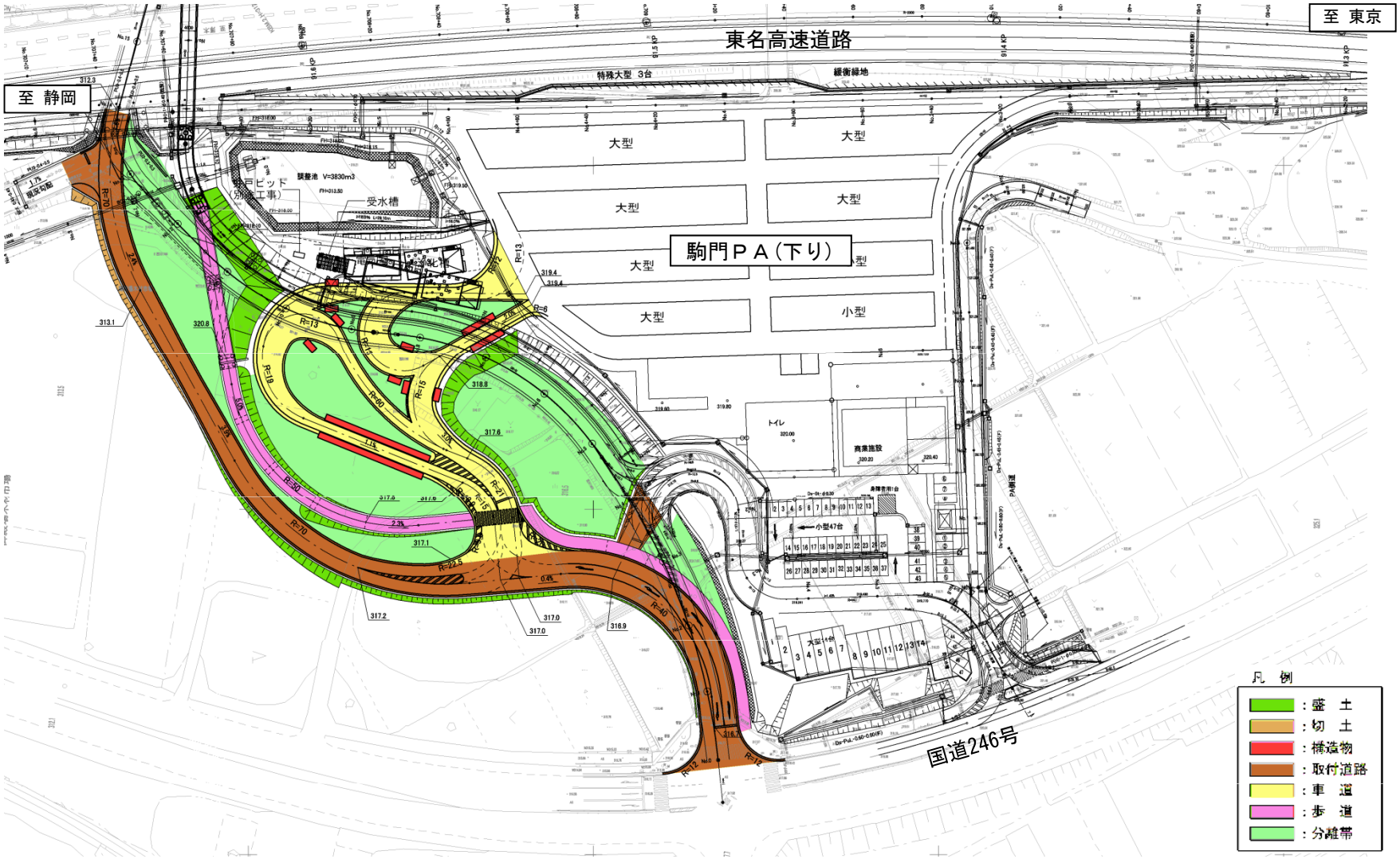
（1）位置図（1/50,000）



11. 概略図面、その他必要な図面

（3）平面図（上り線）（1/1,000）



11. 概略図面、その他必要な図面

（3）平面図（下り線）（1/1,000）